

向こうへ行くときに履物が必要だと思って草鞋を編んだ。川を渡るときに渡しがいいかもしれない。歩いて渡ることもあるだろうと思って、耐水性を考えて荷造り用のプラスチックの紐で作った。ひもが細いので足の大きさまで編むのは大変だ。もう何年も編んでいないから編み方を忘れている。予想外に時間がかかって片足分しかできなかった。まだ向こうへ出発できない。